

まだ、終わっていないぞ 想いと思いを込めて



無所属① 小峰 和美

問 まだ、終わっていないぞ。世界保健機関は5月5日新型コロナウイルスの国際的な公衆衛生上の緊急事態を解除した。3年3か月ぶりに平時に戻ったが、パンデミックが終わったわけではない。ウイルスは変異を繰り返して再拡大するおそれもある。WHOや専門家は各国が監視体制を継続するべきと訴えている。
答 感染動向を注視し、基本的感染防止対策について周知を図る。
問 西東京市は先んじて男性の育児休業制度を創設した。女性に偏りがちな育児の負担を軽減して出産後も働く意欲を高め成長につなげる狙いがある。しかし本市の取得率は50%前後である。育休を取れない環境があるのではないかと。取得率向上が鍵だ。
答 男性職員が育児休業を取得しや

すく、子育てを身近に感じられる職場環境を整備していく。
問 インクルーシブ教育について支援の必要な子が通常学級で学ぶことにより、その子の成長につながり、また周りの子の成長にもつながる。
答 全ての子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、一人一人の特性を把握するとともに、保護者の思いや願いに心を寄せた対応に努める。



市民サービス向上のため適切な職員体制を！ 子どもたちのために学童クラブの環境整備を



維新・国民民主 山崎 英昭

問 最少の経費で最大の効果を上げるには今の職員定数は適切か。
答 合併時1,400人超が現在は約1,000人体制。市民サービスの維持向上には一定程度の確保が必要。
問 誰もが安全・安心に使える道路、歩道、自転車道の整備を求め。
答 安全に利用できるよう努める。
問 今回の庁舎統合方針見直しで合併時から48年先延ばしだ。豪華な必要はなく、学校施設を後回しにせずとも、きちんと積み立てて保谷庁舎敷地を使えば建て替えられる。
答 市民が利用する公共施設を優先させ、庁舎はその後だと考える。
問 学童クラブのニーズが増え過密化や施設老朽化で安全性の懸念がある。子どもたちが安全・安心に過ごせる場所をしっかりと守っていくために積極的な取組を求め。
答 引き続き環境整備に努める。
問 議会が採択した陳情への積極的な対応を評価する。今後の若者支援は。
答 若者が愛着を持ち、住み続けたいと思うまちづくりを進める。
問 鉄道連続立体交差事業の推進と危険な踏切の拡幅を求め。
答 連続立体交差事業は機運醸成に努める。踏切の拡幅の予定はないが対策を調整したい。



学校での感染症対策について 「西東京ふるさと探究学習」について



自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 新型コロナウイルス感染症が5類感染症になった。学校での対策は。
答 改訂後のマニュアルは、健康観察、換気確保、手指衛生やせきエチケットの指導、十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心がけ、抵抗力を高めることのほか、改めてマスクの取扱いや適切な配慮などが示されている。
平時において過剰な対策を講じることは、児童生徒や保護者に必要以上の不安を生じさせるとともに、子どもたちの健やかな成長や学校生活にも影響を与えるものと考えている。
問 西東京ふるさと探究学習の実施状況と今後の予定は。
答 全ての小中学校で、地域の人材や資源、文化等を活用した体験的で探究的な学びを展開する西東京ふるさと探究学習を教育課程に位置づけ

ている。子どもたち一人一人の興味や関心を生かした主体的な教育活動は今年度、全ての小中学校において実施されるものと期待している。新設したコミュニティ・スクール推進委員会を活用し、学ぶ機会を設けている。各校の課題解決に向け積極的に主幹及び指導主事を派遣し、魅力あるカリキュラム開発や教員の指導力の向上にも努める。



地域イベントと経済活性化でまちを元気に！ 子ども、若者を応援しハラスメントゼロへ



自由民主党西東京市議団 山田 忠良

データセンター誘致
問 新たな税収源としてデータセンター誘致を提案する。見解は。
答 先進市の事例を参考に研究していく。
A I 技術で特殊詐欺を防げ！
問 A I が音声を解析し、自動で警察や親族に連絡が行くサービスの助成を行うべきだ。見解は。
答 助成を行っている自治体を調査し、今後検討していく。
市民まつり4年ぶり開催！
問 待ち望んだ市民まつりの再開だ。出店数やパレードの考え方は。
答 現時点で、出店数は今までどおり。パレードは会場内を行進できるよう、会場レイアウトやプログラムを調整することを計画している。
有機野菜を学校給食に
問 \*都のエコ農産物認証制度の認証

を受けている市内生産者は9人。周知とともに、学校給食へ有機野菜導入を提案する。
答 現状でも地場産農産物を活用している。引き続き取り組んでまいりたい。
ハラスメントゼロの西東京市へ
意見 市・議会・教育委員会が連携し、尊厳を守り、人を大切にすハラスメントゼロの西東京市をつくるべき。
令和元年度市民まつり会場入り口の様子



令和元年度市民まつり会場入り口の様子

高齢者施策、公園の活用、田無駅南口の進捗 西原総合教育施設、無電柱化、リスキリング



自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ

問 高齢者施策について伺う。
答 高齢化の進展による要介護・要支援認定者の増加や認知機能が低下した高齢者の増加、生産年齢人口の減少による介護人材の不足が考えられる。昨年11月のアンケート調査の結果、地域包括支援センターや介護サービス事業者、NPO法人などの関係機関、大学生へのインタビューを実施し、第9期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定を進めていく。
要望 高齢者施策を安定的に持続的に進める上で財政面での課題はあるが、高齢者の方々が地域で安心して生活できる環境づくりを第9期計画の施策に反映させていただきたい。
西原総合教育施設
要望 この地域の住民に大切な施設。今後も維持管理に努めてほしい。

田無駅南口広場の整備イメージ図
要望 昼夜バージョンはわかりやすいが、人目線のものもあるとよい。
自治体職員へのリスキリング推進
意見 より効率的な業務遂行やサービスの向上が期待できる。
無電柱化の推進
意見 景観の美化、自然災害による損傷に強く、歩道の幅が確保できる。



田無駅周辺の整備事業の推進を！ 南口交通広場の整備、連続立体化など



自由民主党西東京市議団 とみなが ゆうじ

問 令和5年度の当初予算で計上された「田無駅北口駅前広場の補修工事」、「田無駅南口交通広場の整備」について、これらの事業の進捗状況と今後の予定を伺う。
答 田無駅北口について、ペDESTリアンデッキに、雨水の侵入を止めるための補修工事を予定している。歩道部分は、タイルの改修工事を順次予定している。また平和のリング及び噴水の補修工事は、年末から年明け頃の完了を予定している。田無駅南口交通広場については、4月に整備イメージに関するアンケート調査を実施しており、これを今後の設計に活用して行く。
意見 田無駅南口交通広場の整備事業については、昨年度までに事業用地の約70%を取得し、いよいよ事業が大詰めになってきた。引き続き事

業を丁寧に進めてもらいたい。田無駅から花小金井駅間の連続立体交差事業については、本市が基本構想・基本計画に位置づける方向性を示したことについて評価する。
その他の質問
◇多様化する人権問題への対応
◇改正マンション管理適正化法への対応
◇事務処理の適正化



田無駅南口(令和5年7月)

\*東京都エコ農産物認証制度 化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物を都が認証する制度。
\*リスキリング 新たな分野や職務にて新しいスキルを習得すること。